

平成28年度地域包括支援センター事業評価(抜粋)

大項目	中項目	優れていた点(市評価が◎だった点)	課題が残った点(市評価が△だった点)
基本方針	地域ケア会議の推進	—	地域課題の抽出に課題 困難事例の支援に関して、必要に応じて関係機関と情報共有を行うことで連携強化に努めているものの、地域課題の抽出が十分にできなかった。 今後は多くの人に共通する課題を多様な専門職で議論する地域ケア会議を開催していく必要がある。
	在宅医療連携の推進	長久手市入院時情報連携シート作成を評価 長久手市医療・介護・福祉ネットワークの入退院調整部会で「長久手市入院時情報連携シート」を作成し、医療と介護連携を深めることができた。	—
	認知症に関する取り組み	—	認知症初期集中支援チームの検討が必要 電子連絡帳等を活用し、適切な受診につなげる等の支援に努めているが、認知症の早期発見、早期対応を専門的に行う「認知症初期集中支援チーム」の検討を進める必要がある。
運営体制	広報活動	広報活動を評価 広報活動については、パンフレットや広報紙等の配布のみならず、地域包括支援センターが自らドラッグストア等に出向き、出張相談を行い、その広報活動を回覧板や路線バス等を活用している。	—
総合相談支援及び権利擁護業務	地域におけるネットワーク構築業務	—	地域課題の把握に課題 出張相談や出前講座による市民からの情報収集に努め、関係機関との連携も進めたが、地域ニーズや課題の抽出が十分にできなかった。 ネットワークをさらに強化するとともに、個別の情報に共通する課題を分析する必要がある。
	総合相談業務	出張相談の拡大を評価 出張相談が前年度に比べ増加しており、積極的に地域に出かけている。	—
	虐待への対応	虐待対応についての研修実施を評価 虐待への対応について、ケアマネサロンにてケアマネジャーを対象とした研修を行った。	—
包括的・継続的ケアマネジメント業務	日常的個別指導・相談業務	—	ケアマネジャーを対象とした事例検討会への課題 ケアマネジャーが抱える困難事例に対する支援等は行っているものの、ケアマネジャーを対象とした事例検討会を実施できなかった。 平成29年度は多職種による地域ケア会議などにより、ケアマネジャーへの業務支援をさらに強化する必要がある。